

「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」の改定（案）について

1. 改定の考え方

本年7月に策定した「『未知への挑戦』とくしま行動計画」との整合性を図るとともに、当該基本計画（平成29年度～令和2年度）策定後における社会経済情勢の変化に対応した新たな施策を追加する（改定箇所「第IV章：今後4年間に取り組む施策」）。

2. 主な改定内容

【重点プロジェクト】

1 農林水産3分野の「サイエンスゾーン」による本県農林水産業の成長産業化

- ・実践力の高い人材や高度技術を有する人材の育成確保
- ・高品質・安定生産技術等新たな価値創出に繋がる研究開発

4 「スマート林業プロジェクト」の推進

- ・ICT等を活用した、施業計画の策定や労働負担の軽減
- ・県版木育サミットの開催や木育拠点の開設

5 「水産創生ビジョン（第2期）」の推進

- ・栽培漁業や資源管理型漁業の取組
- ・気候変動に適応した新品種の開発

【基本戦略別の個別施策】

I 人を「育む」-次代を担う人材への投資-

- ・「とくしま農林水産未来人材スクール」による新規就業支援と魅力発信
- ・「徳島かんきつアカデミー」によるかんきつ人材の育成確保
- ・森林経営管理法に基づく「意欲と能力のある林業経営者」の育成

II 生産を「増やす」-市場ニーズや地域特性に応じた生産振興-

- ・飼料用米やWCS（稲発酵粗飼料）など新規需要米の作付拡大
- ・「とくしま三ツ星ビーフ」の認知度向上と生産・流通体制の強化
- ・IoT、ビッグデータ、AIを活用したスマート技術の実装
- ・国際水準GAPへのステップアップ支援及びエシカル農産物の認知度向上の取組

III マーケットを「拓く」-需要拡大に向けた販売力強化-

- ・「Turn Table」、「地域商社阿波ふうど」、「PR車両」など、本県ならではの「強みと機能」を活かした県産品のブランド力向上への取組
- ・「阿波ふうど・ツーリズム」の実現に向けた取組
- ・「とくしま三大香酸かんきつ」の地理的表示保護制度を活用したプロモーションの展開

IV 生産を「支える」-強靱な生産基盤の整備-

- ・農地利用の効率化や高度化を図る農地中間管理機構を活用した農地集積の推進
- ・土地改良区BCP、漁協版BCPの策定促進

V 地域を「守る」-活力と魅力にあふれた農山漁村の創出-

- ・棚田地域振興法の施行を契機とした「棚田」を活用した地域振興施策の推進
- ・「とくしまハンティングスクール」による捕獲の担い手の定着支援

3. スケジュール

- 11月12日 農林水産審議会
- 11月15日～12月4日 パブリックコメントの実施
- 11月25日 経済委員会（事前） 「改定（案）」報告
- 12月10日 経済委員会（付託） 「最終（案）」報告
- 12月中旬 改定